



葛飾北斎「潮干狩図」より構成

理事長交代のご報告



太田猛彦前理事長 退任のごあいさつ「大変お世話になり、ありがとうございました」



4 年前、藤嶋昭前理事長のご退任に伴い短いリリーフ役として理事長をお引き受けしたつもりでしたが、もう 4 年も経ってしまったというのが最初の実感です。この間、コロナ禍後の厳しい時期にもかかわらず新しい

理事さんや参与さんも加わってくださって本アカデミーの新たな発展が期待できる布陣が整ったところで三浦淳新理事長に引き継いでいただいたと感謝しているところです。理事・参与の皆さん、世話人の皆様も含めてご協力、ありがとうございました。

ところで私は理事長就任の前に学長を 9 年務めさせていただきました。講座「環境とみどり」のコーディネータをお引き受けしてからは約 20 年間、本アカデミーに

お世話になりました。

学長時代には馬場康雄現学長をはじめ副学長の先生方、カリキュラム企画・編成委員会の先生方、また全期間を通して石井宏之理事長をはじめとする（公財）川崎市生涯学習財団の皆様には大変お世話になりました、そして何よりも中澤晶人事務局長代行以下の事務局の皆様には特にお世話になりました。感謝に堪えません。さいたま市在住の私にとって「かわさき」は第 2 の故郷以上です。ありがとうございました。

太田前理事長とアカデミー

2011 年 4 月 副学長就任

2013 年 4 月 学長就任

2022 年 6 月 NPO 理事長就任

<東京大学名誉教授、FSC ジャパン代表>



三浦淳新理事長 理事長就任のごあいさつ



この度、初代の故東昭先生、藤嶋昭先生、そして前任の太田猛彦先生からバトンを引き継ぎ、かわさき市民アカデミーの 4 代目の理事長に就任した三浦淳です。

太田先生には長きにわたり、その学識と人柄をもって、コロナ禍の危機も乗り越え、市民アカデミーの発展にご尽力いただき心から感謝申し上げます。市民アカデミーは「受講生が学習を通じて自己の発展と活力ある市民社会の創造、生き生きと学ぶ最高の場を作ることを目指す」という運営方針を掲げています。

馬場康雄学長をはじめ学務の先生方と受講生が、

企画段階から参画し、事務局と協力し、講座やワークショップなどの運営に携わるといった特徴を持っています。1993 年の開学、その後の NPO 化など組織の自立に向けて、生涯学習財団や川崎市の皆様とも協力し、取組を進めてきました。

急激な時代の変化の中、市民アカデミーが、受講生のニーズや社会変化に的確に対応できるよう取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

三浦新理事長（前川崎市産業振興財団理事長）は川崎市の市政に長く携わってこられ、2010 年からは 8 年に亘って副市長を務められました。23 年前期「地域協働講座」24 年前期「環境とみどり WS」では講師として登壇されました。

2026 年度「通常総会」のご報告



2026 年度の通常総会が 5 月 26 日（火）に開催されました。出席、書面又は委任状により総会の定足数を満たす 135 名の参加がありました。議長に中澤副理事長を選出し、2025 年度事業報告及び 2026 年度事業計画（案）など 6 議案が提案され、質疑応答の後、各議案はいずれも賛成多数で可決承認されました。

2025 年度 活動報告（概要）

団塊の世代が後期高齢者の仲間入りを果たし、アカデミーを「卒業」される方が増える一方、65 歳以降も働くという方々の増加は「入学」者の停滞をもたらす、というマクロ状況は今後も続くと思われます。そうしたアゲインストの風の中でも、まだまだ「かわさき市民アカデミー」の存在をご存知ではない方も多く、様々なメディアを通じてアカデミーの認知と新規受講生の獲得に努めました。手軽に参加できる「単回受講」も前期 295 名、後期 374 名と多くの方にご利用いただきました。こうした受講を契機として本格的な受講が増えることを期待しています。

2025 年度 会計報告（概要）

2025 年度は正味財産増減額 +1,160 千円の予算でスタートしましたが、決算では予算を上回る +1,559 千円を計上しました。

収益は、後期の受講生数が予算比減少したことによる受講料収入の減少が、特別・単回受講料収入の増加を上回り、対予算△636 千円となりました。

一方、費用は、人件費△2,634 千円、講座運営費△773 千円等の減少により、対予算△1,033 千円の減少となりました。

以上の結果、正味財産増加額は対予算比 +397 千円の増加となりました。

2026 年度 役員紹介

理事長	三浦 淳	(6 月 1 日理事会で選出)
副理事長	中澤 晶人	(6 月 1 日理事会で選出)
	重藤 和義	(6 月 1 日理事会で選出)
	清水 正美	(6 月 1 日理事会で選出)
	島田 久弥	(6 月 1 日理事会で選出)
理事	石塚 初子	金子 勉 木村 ますみ
	守田 啓子	吉田 泰磨
監事	平井 茂雄	
名誉理事長	藤嶋 昭	

2026 年度 活動方針（概要）

開学して 30 年超、NPO になってほぼ 20 年、この間にシニアの意識も、我々を取り巻く社会環境も大きく変貌しました。

そこでアカデミーを支える「基本的な仕組み」について、こうした変化に適合したものとすべく、根本的な見直しを始めます。(1)講座構成・講座運営体制の再検討、(2)組織体制の在り方の検討と規範の体系的整備、(3)財政構造と受講生負担の再検討という 3 つの観点で見直しします。いずれも相互に絡み合う問題であることから、検討は同時俯瞰的に行います。学務関係者（学長ほか）や財団と協議を重ねながら方向性を探ってまいります。

2026 年度 活動予算案（概要）

2026 年度予算は後期の受講生数を前期と同数を見込んだ結果、2025 年決算比、WS 受講料収入は減少するものの、2 年コース、1 年コース、単期コースの受講料収入は増加し、収益は +2,623 千円の増収見込となりました。一方、費用は人件費の増加、野外学習音声ガイド機器等の購入等により、+2,939 千円増加見込となりました。

結果、正味財産増加額は 2025 年決算比△316 千円の予算計上となりました。

NPO 正会員募集のご案内

NPO 法人かわさき市民アカデミーは、活動の維持・発展にご協力くださる正会員を募集しています。正会員は 5 月に開催される NPO 法人総会で、議決権を行使することができます。

皆さまの入会をお待ちしています。

連絡先およびお問合せ先（平日 9 時～16 時）
かわさき市民アカデミー事務局
☎ 044-733-5590

「今こそオールドメディア奮闘の時」

映像・メディア コーディネータ **新山 賢治**
しんやま けんじ

この度、縁がありまして、かわさき市民講座の企画のお手伝いをさせていただきます。私は昭和 52 年に NHK に入局し報道番組・科学番組を中心にドキュメンタリーの制作現場に身を置いてきました。この講座ではこの経験をベースにしつつも、さらに視野を広げてわたしたちを取り巻く情報の世界を見つめてみたいと思います。



今、人々の情報源が大きな転換点をむかえています。暮らしの情報を SNS や YouTube から得て、さらに AI から行動の指針を得る人々が急増しています。この潮流の中で、これまで主座にあった新聞、雑誌、そして放送など旧来型の情報発信の現場に今何が起きているのでしょうか。それぞれ、1 世紀近く、取材を重ねそれらを伝えるノウハウを蓄積してきた現場は、かつてない自己変革を求められています。

講座では、今まさに激動の渦中にある、いわゆるオールドメディアの現場エキスパートを講師にお招きし、それぞれの現場で彼らが置かれている切実な状況を具体的に語っていただくことで、これまで情報界に君臨してきた新聞、雑誌、そして放送とはなんだったのかを俯瞰し、今後未来へ向けてのオールドメディアの可能性を探究し、さらにその覗き穴を通して SNS や YouTube、AI という新情報ツールの可能性、さらに課題を検証してみたいと思います。講師には、放送プロデューサー、ディレクター、週刊誌・月刊誌の編集者、新聞記者、編集長、さらにニューメディアの現場からも第一線で悪戦苦闘する人材に来ていただけるようコーディネートしていければと思います。

玄関前のアカデミー看板を刷新

生涯学習プラザ玄関前にある「かわさき市民アカデミー」の看板を刷新しました。先般使用規程を整えたロゴマークとパンフなどでおなじみのフォントを組み合わせたデザインで、耐久性に優れるステンレスプレートを用いています。プラザ来場時に、是非お確かめください。



谷口将紀先生の特別講座報告



「自民党過半数割れ」…衝撃的な結果となった 2024 衆院選に続き、今回は「自民党単独で 2/3 獲得」。前回とは正反対の衝撃(比例名簿が 14 人も不足！するほどの意外性)をもたらした 2026 衆院選の背景について、じっくりとお話をお聴きしました。計量政治学の第一人者でもある先生は、研究室と朝日新聞との共同調査を 2003 年から行っています。「有権者調査」と「候補者調査」を通して、投票する側と立候補した側の意識がどのように整合して、あるいは食い違っていて、今回のような選挙結果を招来したのか、鋭く分析していただきました。さて、次回はどうなる？（重藤和義）

野外学習音声ガイド機器の統一について

野外学習においては、講師の説明等をより良い状態で聞けるよう、音声ガイド機器を使用しています。

現在 3 機種を併用していますが、2026 年度の後期より、市販品「イヤホンガイド」への統一を順次実施し、その導入・維持に必要なコストは、野外学習関連費用として利用受講生の皆様にご負担いただくことといたしました。



どうぞよろしくお願いたします。（総務部会）



謎かけ講座
第 5 弾

答えは 4 面のどこか

★ 近年の日本の季節 と
かけまして、 めちゃ
くちななオーケストラ
ととく。

そのころ
は
どちらも「・・・」
でしょう。





世話人グループ紹介



日本史講座

受講料を払って、講座聴講のみで帰宅するという味気ないパターンを変えてみませんか？

火曜日の日本史講座は世話人 9 名のグループです。日本の歴史を半期ごとに古代・中世・近世・近現代と 2 年間ですべてを学ぶカリキュラムを組んで運営しております。

午前の日本史講座は参加者も多いので、世話人も多数募集しています。会場整理と進行そして配布資料の準備や後片付けなどを行っています。世話人同士の横のつながりも大切にし、講座終了後は食事会なども時々行っています。

世話人ですから、講座予定の立案もします。これからの講座を考えて、担当の先生と話し合い

をします。世話人として参加することで、自分の好きな時代の講座が増える可能性もあります。

講座終了後には茶話会や飲み会なども実施しています。期末の飲み会目的に参加する人もいますとか？

どちらの講座も、人生経験を積んできた人たちの集まりですので、講座終了後は視点が異なる

見方での日本史談議で議論活発、より楽しい受講生生活を送れるのではないかと思います。興味のある方は、近くの世話人さんに声をかけてみてください。

（日本史講座代表世話人 西沢 昭）



2026 年度後期受講生募集が始まりま～す！



パンフレットは 7/1（水）から配布開始。同時に申込み受付も開始します。

ホームページからの申込みは 7/7（火）13 時からです。締切り日は 8/18（火）です。

定員に満たない講座・ワークショップは 8/19（水）以降先着順で受付けます。



後期の受講案内の表紙

以下の日程で受講説明会を開催します。

★の日はオンライン併用開催日。事前申込みが必要。

場所	開催日	時間
麻生市民館 第 1 会議室	7/28(火)	10:00～
川崎市生涯学習プラザ 201 会議室	★7/30(木)	
高津市民館 第 5 会議室	7/31(金)	

お友達をご紹介下さい



お友達も受講された場合、ご紹介して下さった方とお友達それぞれに図書カード 500 円分を差し上げます

紹介キャンペーン

編集後記

某企業の広告企画で、『国宝』の原作者 吉田修一さんが、映画で大役に挑んだ主演 吉沢亮さんへ贈った熱いエッセイ『青き挑戦者』は、“あなたも逃げないでほしい、あなたの中に小さく灯る、その青い挑戦から”で結ばれています。

全ての人（あなた）に向けたエールが込められています。世界情勢が目まぐるしく変わる中、日々の苦難や苦労がある中、新しい学びを続ける場、受講生が運営を支え続ける場、アカデミーはそんな挑戦の場ではないかと思います。（Y.A.）

認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー

発行人 広報・地域連携部会

編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習プラザ 3F

電話 044-733-5590 FAX 044-722-5761

問合せメールアドレス HPはこちら↓

info@kawasaki-c-academy.jp

https://kawasaki-c-academy.jp/

